



川口市立在家中中学校 川口市大字安行領在家272番地  
048(295)4102 FAX 048(295)5661  
URL <https://zaike-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp/>



- ・心身ともにたくましい生徒
- ・自ら進んで学ぶ生徒
- ・豊かな情操を培う生徒

## 言葉のもつ力

校長 鈴木 玲

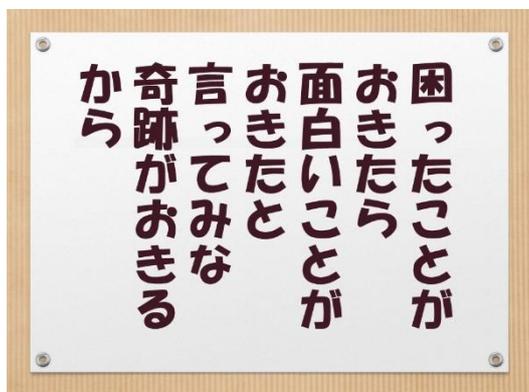
前号の在家中だよりで『言霊』について触れたところ少しだけ反響があったので、もう一度『言霊』について書こうと思います。

《言葉には『言霊』が宿り、言葉に発したとおりの結果が表れる》と古くから考えられてきました。「そんなの大昔の人の考え方でしょ？」と思うかもしれませんが、現代でもこの考えは根づいていて、結婚式など、お祝いごとの席でのスピーチでは「終わりに」とか「最後に」とは言わずに「結びに」という言葉を使います。『幸せが終わってしまう』『この喜びが最後になる』ことを避け、『つながる』ことや『固く結ばれて持続する』ことをイメージさせる「結び」という言葉が選ばれるのでしょう。

私自身は言葉のもつ力を信じています。実際に、時として、説明しがたい不思議な力を感じることもあります。ですので、ネガティブな言葉が在家中から、大袈裟に言えば世の中から無くなることを願っています。特に、生命を軽んじる言葉や他者を蔑む言葉などは絶対に発せられるべきではありません。ネガティブな言葉は自分や他者を傷つける凶器になります。しかし、せつかくもつ力ならば、自分や他者を勇気づけ、守るための力として使いたいものです。

さらに前号で記したとおり、言葉には発することで自らの決意をより固いものにしたたり、ポジティブな言葉によって自身を奮い立たせたりする力があります。もちろん、言葉はコミュニケーションの手段としての機能をもつため、言葉を発することで同じ思いや目標をもつ前向きな仲間が集まり、実現しやすくなるのかもしれませんが、優しい言葉で明るく温かい雰囲気が作られれば居心地が良くなり、反対に棘のある冷たい言葉は人を遠ざけ、自分にも周囲の人たちにも生きづらい日常を作りかねません。

要するに、どのような言葉を発するかは、ものごとをどのように捉え、そのことについてどう考えているかなのだと思います。ポジティブな言葉を発する人というのは、たとえ困難でもプラスに捉え、ベクトルを前へ向けます。ものごとが上手いかない人は、知らず知らずのうちに止まることや後退することを考えて言葉を発していないでしょうか？ 言葉のもつ力とは「気構え」のように思えます。



以前、実業家で多くの著書を執筆している斎藤一人という方のある言葉に出会いました。それは『困ったことがおきたら面白いことがおきたと言ってみな。奇跡がおきるから』という言葉です。

否が応でも困難は訪れます。しかし、そのような時こそ視点を変え、言葉を変え、気構えを変えてみるとういのだと思います。もうすぐ迎える新しい年。自分のため、他者のためにも、『言霊』を信じて、発する言葉や行動を少し変えてみてはどうでしょうか？

### 保護者・地域のみなさまへ

2学期も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。今学期は体育祭や合唱コンクールなども無事、多くの保護者・地域のみなさまにお見せすることができました。生徒自らが考え、行動し、互いに支え合う様子をご覧になり、子供たちの確かな成長を感じていただけたのではないのでしょうか？ とはいえ、少しのことでも感情が揺れ動き、悩み苦しんだり、まだまだ判断を誤ったりするのが中学生年代です。保護者・地域のみなさまの力を必要とすることが多くあります。今後とも子供たちの成長のため、温かく見守り、ご指導くださいますようお願いいたします。